



## スイッチの設定

---

この付録の内容は、次のとおりです。

- [構成セットアップ ウィザードを使用したスイッチの設定 \(1 ページ\)](#)
- [CLIを使用したスイッチの設定 \(3 ページ\)](#)

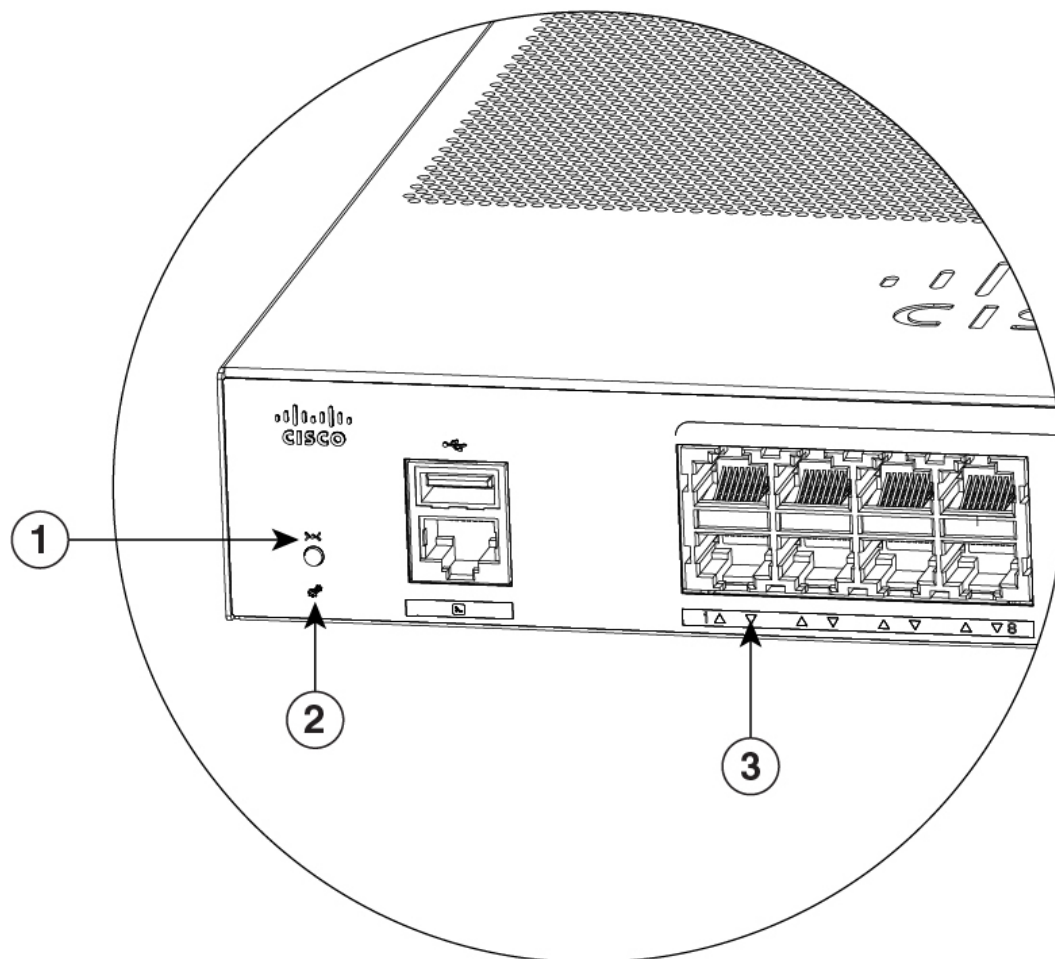
## 構成セットアップウィザードを使用したスイッチの設定

### クイック セットアップ : 構成セットアップ ウィザードへのアクセス

スイッチの初回セットアップ時は、構成セットアップ ウィザードを使用して初期 IP 情報を入力します。これによって、スイッチをローカルルータおよびインターネットに接続できるようになります。その後、その IP アドレスでスイッチにアクセスし、その他の設定を実行できるようになります。



- 
- (注) デバイスが Bluetooth をサポートしている場合、初期設定タスクが事前に設定された状態でロードされます。Bluetooth を使用して、PC をデバイスに接続します。Web ブラウザで IP アドレス 172.16.0.1 を入力します。デフォルトのクレデンシャル (ユーザー名 : cisco、パスワード : cisco) を入力し、**Enter** を押します。
-



356399

1	リセット ボタン
2	SYST LED (システム)
3	ポート LED

開始する前に：PCに固定IPアドレスが設定されている場合は、一時的にDHCPを使用するようにPCの設定を変更します。

手順

**ステップ1** デバイスがスイッチに接続されていないことを確認します。初期状態では、スイッチはDHCPサーバーとして機能します。

**ステップ2** STAT LED がグリーンに点灯したままであることを確認します。これは POST が完了したことを示します。STAT LED がオレンジに変わった場合は、デバイスの POST が失敗しています。AC 電源コードを、デバイスの AC 電源コネクタおよびアース接続された AC 電源コンセント

に再接続します。STAT LED がまだグリーンにならない場合は、シスコの担当者または販売店にお問い合わせください。

**ステップ 3** [Reset] ボタンを 3 ～ 4 秒間押し続けてから離します。

**注意** : 3 ～ 4 秒後に [Reset] ボタンを離してください。それよりも長く [Reset] ボタンを押し続けると、セットアップモードが終了します。

**ステップ 4** カテゴリ 5 のストレートイーサネットケーブルを、スイッチの前面パネルの 10/100/1000 イーサネットポートおよび PC のイーサネットポートに接続します。

**ステップ 5** PC およびデバイスのポート LED がグリーンに点灯したままになっているか、またはグリーンで点滅していることを確認します。これは接続が成功したことを示します。

**ステップ 6** 30 秒間待機します。

**ステップ 7** PC のインターネットブラウザを使用してデバイスにログオンするには、インターネットブラウザのアドレスバーに IP アドレス 10.0.0.1 または 10.0.0.3 を入力し、Enter を押します。

**ステップ 8** デフォルトのクレデンシャル（ユーザー名：cisco、パスワード：cisco）を入力して **Enter** を押します。

構成セットアップウィザードが表示されます。[Go to Wizard] をクリックします。

## 構成セットアップウィザードの完了

構成セットアップウィザードを完了することで、トラフィックがネットワークを通過できるようにするために必要な最小構成でデバイスをセットアップすることができます。これを実現するには、構成セットアップウィザードを進めながら次のセットアップタスクを完了する必要があります。

- デバイスの基本設定
- インターフェイス
- レイヤ 3 設定
- 高度なデバイス設定

構成セットアップウィザードの完了に関連する構成手順の詳細については、『*User Guide for Cisco Configuration Professional for Catalyst*』を参照してください。

## CLI を使用したスイッチの設定

### コンソールポート経由での CLI へのアクセス

スイッチの RJ-45 コンソールポートまたは USB コンソールポートを PC またはワークステーションに接続し、端末エミュレーションソフトウェアを通じてスイッチにアクセスすることにより、設定済みスイッチ、または未設定のスイッチ上で CLI にアクセスできます。



- (注) スイッチをスタックしている場合は、スタック内の1つのスイッチのコンソールポートに接続します。任意のメンバスイッチから、スタック全体の初期設定を行うことができます。

## RJ-45 コンソール ポートの接続

### 手順

- ステップ1** RJ-45/DB-9 アダプタ ケーブルを PC の 9 ピン シリアル ポートに接続します。ケーブルのもう一方の端をスイッチのコンソールポートに接続します。
- ステップ2** PC または端末上で端末エミュレーション ソフトウェアを起動します。このプログラム（その多くは、HyperTerminal や ProcommPlus などの PC アプリケーション）は、使用可能な PC または端末とスイッチの間の通信を確立します。
- ステップ3** コンソールポートのデフォルト特性に合わせて、PC または端末のボーレートおよびキャラクタフォーマットを次のように設定します。
- 9600 ボー
  - 8 データ ビット
  - 1 ストップ ビット
  - パリティなし
  - なし（フロー制御）
- ステップ4** スイッチのクイック スタート ガイドを参照して、スイッチの電源を入れます。
- ステップ5** PC または端末にブートローダ シーケンスが表示されます。Enter を押してセットアッププロンプトを表示します。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。